10の指標にみる福島県のいま

Ver.19 平成28年6月15日

H27

総人口

◎前回国勢調査比

-5.7%4回連続減 ◎震災前比 H27=94. 3

(H22=100.0)



○平成27年国勢調査結果(速報)は、震災前となる平成22 年の前回調査から11万人以上減の1,913,606人となり △5.7%の減少幅は過去最大となった。

○男性が前回調査比△4.0%に対し、女性は△7.3%となっ ており、女性の減少幅が大きい。

(前回国勢調查比:%) 2,250,000 2,126,935 2,091,319 2.0 2,029,064 1,913,606 0.0 2.000.000 1,750,000 Δ 2.0 1.500.000 Δ 4.0 Δ 6.0 1.250.000 1,000,000 Δ 8.0

H22

出典:H27年=県統計課「平成27年国勢調査速報」、H12,17,22年=総務 省「国勢調査結果」、その他の年=県統計課「福島県の推計人口」

2 人口の移動状況(社会動態)

◎前年比 転入 +6.0% 転出 +5.2% 4年連続転出超過縮小



◎震災前比 転入 H27=111.2 転出 H27= 95.2 (H22=100.0)

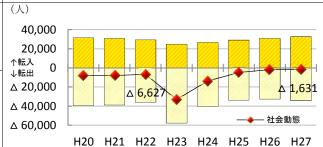


○震災時に大規模な人口流出が生じたが、平成24年以降 は転出超過の縮小が続いている。

○平成27年の転入者数は震災後最多となり、社会動態は 震災前である平成22年の△6,627人から4,996人縮小の △1,631人となった。

基準:各年1月1日から12月31日までの計 出典: 県統計課「福島県の推計人口(福島県現住人口調査)」

H17



3 合計特殊出生率

New!

◎前年比 +0. 02ポイント 3年連続増



◎震災前比

H27=105. 3 (H22=100.0)



○震災以降、平成24年までは下降していたが、平成25年 に上昇に転じ、震災前の水準へ回復した。

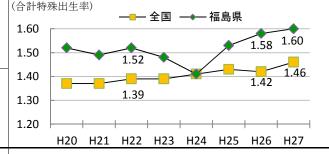
○平成27年は14年ぶりに1.60に回復しており、3年連続 での上昇となった。

其淮·年

基準:各年10月1日現在

H12

出典:厚生労働省「人口動態統計」平成27年は月報年計(概数)



県内総生産

◎経済成長率(前年度比) 名目 +4.5% 実質 +3.9% 3年連続増



◎震災前比 名目 H26=108.1 実質 H26=108.8 (H22=100.0)

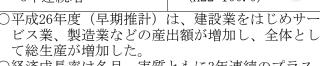


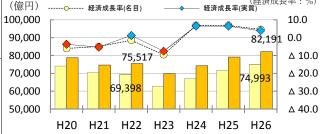
○平成26年度(早期推計)は、建設業をはじめサ− ビス業、製造業などの産出額が増加し、全体とし

○経済成長率は名目、実質ともに3年連続のプラス となっている。

基準:年度 出典: 県統計課「福島県県民経済計算」 平成26年度は早期推計

総生産(名目) 総生産(実質) 総生産(実質) (経済成長率:%) 経済成長率(実質) (億円) -- 経済成長率(名目) 100.000





一人当たり県民所得

◎前年度比 +5.2%

3年連続増



◎震災前比

H26=115. 7

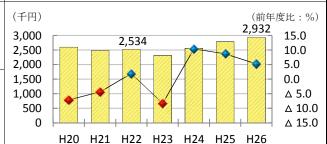
(H22=100.0)



基準:年度

○平成24年度から3年連続で大幅増加し、平成26年度 (早期推計) は293万2千円となった。

○また、平成26年度の国を100とした所得水準は 102.2となり、国公表データと比較可能な昭和 55年度以降、過去最高となった。



出典: 県統計課「福島県県民経済計算」 平成26年度は早期推計

10の指標にみる福島県のいま Ver.19

<変化方向について> 💜 緑:良い動き 🐒 赤:悪い動き 靲 黄:横ばい で表示。 ※逆向き指標(企業倒産件数等)が減少した場合、下向きかつ緑(良い動き)の矢印となる。

学校給食における地場産物 活用割合(公立学校)

New!

基準:年度 出典:県健康教育課「学校給食における地場産物の活用状況調査結果」 ※平成23年度は東日本大震災の影響により調査未実施

◎前年度比

+5.4ポイント 3年連続増



◎震災前比 H27=75. 6

(H22=100.0)

○公立学校での給食における地場産物活用割合は震災後 大きく落ち込んだが、平成25年度以降は年々増加して いる。

○平成27年度は27.3%となり、震災後の前年度比が最も 高い5.4ポイントの上昇となった。

40.0 30.0 34.7 37.1 36.1 20.0 19.1 18.3 10.0 0.0

H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27

きゅうり・ももの市場価格



<収穫量の全国順位> 基準: 暦年 市場平均価格を100とした本県産平均価格指数 出典: 東京都中央卸売市場「市場統計情報」 出典: 東京都中央卸売市場「市場統計情報」 (市場平均=100)

◎前年比 きゅうり -6.0ポイント +5. 4ポイント **‡, ‡,** きゅうり 2年連続減 もも 2年連続増



◎震災前比 きゅうり H27=102.8 H27=84. 4 **#, #,** (H22=100.0)



きゅうり

- ○東京都中央卸売市場で取引された本県産きゅうりの 市場価格は、平成24年に189円/kgと市場平均の63.6% へ下落したが、翌年以降は震災前を上回った。
- ○ももは平成23年に222円/kg、市場平均の43.8%へ大幅 下落したが、平成27年は74.4%まで回復。
- 100.0 88.2 74.4 80.0 63.6 60.0 43.8 40.0 20.0 0.0 H21 22 23 24 25 26 27

農林水産物モニタリング検査 基準値超過検体件数の割合

New!

基準:年度

出典: 県環境保全農業課「農林水産物に係る緊急時環境放射線モニタ リング検査実施状況」

◎前年度比

-0. 35ポイント 4年連続減

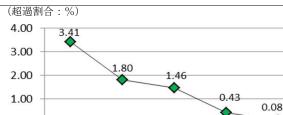


◎実施初年度比 H27=2.3

(H23=100.0)



- ○基準値超過検体数の割合は、平成23年度の3.41% から年々減少し、平成27年度は0.08%となった。
- ○平成25年度以降、野菜・果実、畜産物での基準値 超過はない。



H24

全国新酒鑑評会結果

New!

基準:酒造年度(7月1日~翌年6月30日) 出典:独立行政法人酒類総合研究所、日本酒造組合中央会「全国新酒 鑑評会審査結果」

H25

H26

H27 (年度)

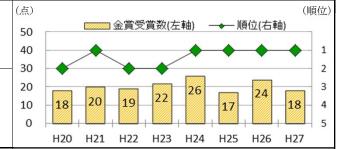
◎前年度順位比 \rightarrow H₂2 7 H 2 6 1位 1位 4年連続日本一



◎震災前比 H27=1付 (H21=1位)



- ○平成27酒造年度の本県出品の金賞受賞数は18点で あった。
- ○4年連続で日本一となっており、本県の酒づくりは 高い評価を受けている。



10 県外からの延べ宿泊者数

◎前年比 +1.7% 4年連続増



◎震災前比

H27=113. 4 (H22=100.0)



- ○県内宿泊施設の宿泊者のうち、県外からの宿泊者数は 平成25年に震災前の平成22年を上回った。
- ○その後も増加を続け、平成27年には前年から1.7%増の 5,638千人となった。

0.00

H23

出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」平成27年は速報値 従業者数10人以上の施設

